



10月27日～11月9日は秋の全国読書週間です。今年の標語は“この一行に逢いにきた”です。この標語の作者は“本の中にグッとくる一行があって、何度も何度も目でなぞり、ついには暗記してしまう。作者はこの一行のためにこの本を書いていて、読者はこの一行に出逢うため読んでいるのだと思うとき、幸福になる自分がいます。”と言っています。心にささる一行、ハッとさせられる一行、色々な言葉から刺激をもらえる、そんな本との出会いがあるといいですね。

徳高図書室でも、特別貸出を実施します。貸出冊数も多く、貸出期間もいつもより長くしています。この機会にぜひ本を借りましょう。入り口を入ってすぐ左の展示コーナーに、図書委員のお気に入りの一冊を展示しています。本を選ぶ時の参考にしてみてくださいね。

また、特別貸出期間中に、雑誌のバックナンバーを差し上げます。お気に入りの俳優やスポーツ選手が載ってるかもしれませんよ。ぜひどうぞ。雑誌は数に限りがありますので、先着順とさせていただきます。ご了承ください。



特別貸出実施

★実施期間：10月21日（月）～11月8日（金）

★貸出冊数：10冊

★貸出期間：2週間

期間中に5冊以上借りると図書委員特製しおりをプレゼント！
さあ、読書の秋です。読書を楽しもう！

本の福袋いかがですか？

特別貸出期間に合わせて本の福袋を用意します。袋の中には図書委員おすすめの本が3冊入っています。物語だけではなく、色々なジャンルの本が入っています。どんな本が入っているかは開けてからの楽しみ！自分では選ばないような本との出会いがあるといいですね。



★返却期限の過ぎている本は、直ちに図書室へ返却してください。

新着本案内

- * 『あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。Another』 汐見夏衛 (913)
- * 『絶望体験レストラン』 WoW キツネザル (519)
- * 『三淵嘉子と家庭裁判所』 清永聡 (289)
- * 『クレーンゲームで学ぶ物理学』 小山佳一 (420)
- * 『バリ山行』 松永K三蔵 (913) ★第171回芥川賞受賞作
- * 『サンショウウオの四十九日』 朝比奈秋 (913) ★第171回芥川賞受賞作
- * 『ツミデミック』 一穂ミチ (913) ★第171回直木賞受賞作
- * 『箱庭世界』 パイインターナショナル (726)
- * 『「何回説明しても伝わらない」はなぜ起こるのか?』 今井むつみ (361)
- * 『お菓子好きのためのクリームの本』 小松友子 (596)
- * 『地雷グリコ』 青崎有吾 (913)
- * 『俺たちの箱根駅伝 上・下』 池井戸潤 (913)
- * 『「性格が悪い」とはどういうことか』 小塩真司 (141)
- * 『世界インフレ日本はこうなる』 池上彰 (332)
- * 『すべての人にいい人である必要なんてない』 キム・ユウン (929)

まだまだありますよ。図書室へGO!



『世界インフレ日本はこうなる』 池上彰
「物価高」「インバウンド」「インフレ」「デフレ」など、ニュースでよく聞くけど、どうということ? そんな疑問に池上氏がわかりやすく解説してくれます。日本経済復活の鍵は果たしてどこにあるのか。

『箱庭世界』 パイインターナショナル
まるでジオラマのような小さな空間に広がる空想世界! 国内外のクリエイター26人の作品を紹介。それぞれの世界観やその発想などが楽しめます。眺めているだけでも楽しい!

『地雷グリコ』 青崎有吾
みんなが知っている「だるまさんがころんだ」や「グリコ」などのゲームに、独自のルールを付け加えての真剣勝負! 高校生たちによる頭脳バトルが繰り広げられます。文章も読みやすく、小説を読み慣れない人にもおすすめです。

★新着本より紹介★



図書委員オススメ本



おきてがみきょうこ 『掟上今日子の忘備録』 西尾維新 (著)

—「今日という日を後悔したくないんです」— これは、この物語に登場する掟上今日子という人物が放ったセリフだ。実は、彼女がこんなセリフを放ったのには深い訳がある。なんと彼女の記憶は1日ごとにリセットされてしまうのだ。そんな特性をもつ彼女は探偵として働いており、事件解決のあまりの速さから「最速の探偵」という異名で呼ばれる。

一方、巻き込まれ体質であり、毎度のように事件の犯人として疑われてしまう主人公は、彼女の推理力に助けられ、彼女に惹かれていく。

ミステリーも恋愛も楽しめるこの作品、続編もたくさんありドラマ化もされているので、ぜひ1度は読んでみてほしい。

(2年図書委員)

